

○「地区ごとの話し合いを推進を」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成31年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月5日(金) 19:00～21:00
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出席者: 農業委員2人、推進委員1人
事務局2人
※委員3人、委員以外2人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

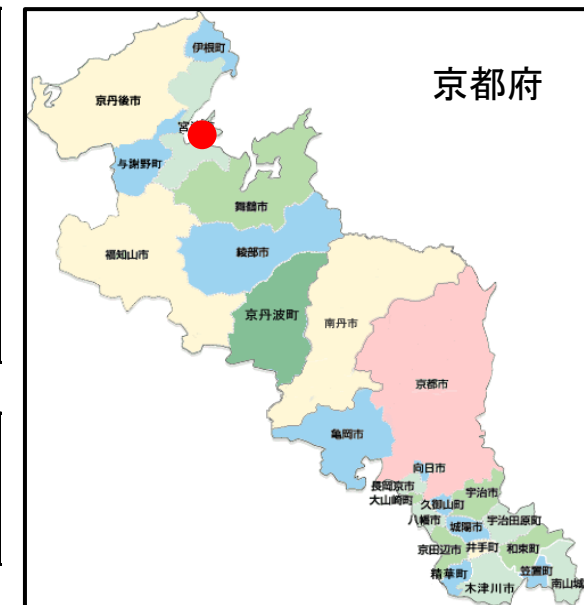
- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会事前調整
 - ・アンケートの結果報告
 - ・今後の活動 地区割りし話し合い活動を推進

田井地区	矢原地区	脇ノ浜地区	獅子地区
新宮地区	脇地区	中村地区	小寺地区
中津地区			

※ブロックごとの話し合い活動の柱の検討(提起)が必要



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援